

## 玉川やすらぎ学級 館外研修 「沖島」を体感しよう！

沖島は琵琶湖で浮かぶ唯一の人が生活している島で、最近は「猫の島」ともいわれ有名になってきています。今回は総勢 15 名で少し肌寒い 10 月 18 日(月)に沖島に行ってきました。

離島でありながらも近江八幡の堀切港から町営の通船に乗りわずか10分で島に到着。細い路地と昔ながらの民家が軒を連ねどこか懐かしい風景が広がる島内を、ボランティアガイドさんの案内で観光しました。

昼食は漁港会館内で、沖島漁港協同組合の婦人部が運営する「湖島婦貴(ことぶき)の会」のみなさんの手作り弁当(要予約)をいただき、漁港会館前の『屋台』で販売されている湖魚の若煮などお土産を購入し、最後に参加者全員で記念写真を撮り※「もんで」来ようと心に誓い帰りの船に乗り込みました。

沖島からの帰りにラコリーナに寄り、焼きたてバームクーヘンを購入すべく長蛇の列に！なんとか時間内に購入できて帰路につきました。

※「もんで」…沖島の言葉で「もどってくる」という意味。

